初級

ホルムアルデヒドについて（methanal:CAS50-00-0:formaldehyde:CH2O）

ホルムアルデヒドは、住居の中や自然界の多くに存在する物質です。

一般的にはシックハウス症候群の原因となる物質のひとつとして知られています。濃度によっては皮膚や粘膜に対して刺激を及ぼす物質であることから、化粧品にはホルムアルデヒドを使用することはできません。また、家庭用品の肌着、つけまつげの接着剤などには「発生量75ppm迄（有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律より）」という数値の基準があります。ホルムアルデヒドは、シアノアクリレートが硬化した後にもごく微量発生する場合があります。そのため、グルーはホルムアルデヒド試験に合格しているものを使用しなければなりません。

グルーは通常、知識のある人もしくは知識のある人の指導の下で使用するといった、プロまたはプロを目指す練習生向けの特殊なものです。決して、一般家庭用品や化粧品ではありません。化学物質に過敏な体質の方は「くしゃみ・鼻水・かゆみ」などの花粉症と同じような症状を引き起こすことがあります。ホルムアルデヒドに対して過敏体質の方には施術出来ないことを知っておかなければなりません。

※松風のグルーはホルムアルデヒド試験（MATSUREN自主基準）をクリアしております。

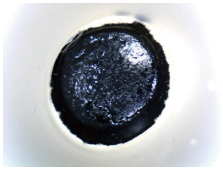
硬化したグルーの画像

グルーの多くは劣化すると普段より粘度が強くなったり、容器を手で振っても混ざらずに分離した状態になります。

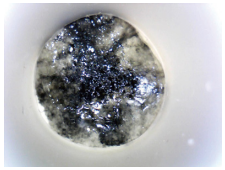
※グルーの劣化については、グルーの種類や劣化した原因によって硬化後の状態が異なる場合があります。

正常なグルー（例）

劣化



完全に硬化できず表面がネバネバしている



分離したグルーが硬化した状態

KEY POINTS トラブルを起こさないために

まぶた周辺は、人体の皮膚の中で最も薄く、刺激に対して敏感に反応します。また、グルーの使用は粘膜付近で行うため慎重に施術を行う必要があります。施術によるリスク（万一の危険）をいかに回避するかを考えましょう。

例1）顧客のおでこの上に「グルーや人工毛を乗せて施術をしない」

例2）顧客の顔の周辺に「道具を置いて施術をしない」

など、施術時の基本ルールは正しく守りましょう。

施術者は持続性を高めるために、強力なグルーを選択してしまいがちですが、持続性が高いグルーほど刺激が強く慎重に扱う必要があります。リスクを減らすため、グルーのみに頼らずに持続性を高めるテクニックを覚えましょう。例えば、洗顔はお湯よりも水、クレンジングはオイルクレンジングよりやさしく落とすタイプを使用するなどのアフターケアを顧客に実践していただくことも持続性を高めるコツです。他にもこのようなコツやテクニックはたくさんあるので実践しましょう。

初級

補足資料ー取扱説明書

グルーを使用する際は、必ず製造メーカーが記載する成分表・説明書をよく読んでから使用するようにしましょう。

■グルーの取扱説明書（例）

Ingredients label -MOTHER GLUE -

マザーグルー「MOTHER GLUE」松風プロフェッショナルグルー

【使用制限】

本品は、まつげエクステンションに関する知識及び経験を持ったスペシャリスト専用に開発した速乾タイプである。従って、その知識及び経験の無い場合、本品の使用を禁止する。

【安全性試験データ】

合格　：　ヒト皮膚一次刺激性試験/パッチテスト（MATSUREN自主基準）

合格　：　まつげエクステ用グルーホルムアルデヒド試験(MATSUREN自主基準)

【構成成分】

エチルシアノアクリレート(主成分)、メタクリル酸メチル、カーボンブラック、増粘剤

【使用環境】

まつげエクステンションの装着時に最適な温度及び湿度は、以下の通りである。

室内温度　：　25～28℃

室内湿度　：　55%(許容範囲40～70%)

【使用目的】

まつげと人工毛の接合又は補強等に用いるまつげエクステンション専用の接着剤。

【使用対象者】

まつげエクステンションの装着に対し、十分に知識のある者

※万一、知識の無い者が購入した場合は、使用せずに直ちに返品を申し出ること。尚、施術営業を行う際は美容師免許を保持していなければならない。

【使用方法】

1. 本品を塗布する前にまつげ及び眼周辺の化粧、汚れ等を拭き取る。人工毛は必ず清潔な状態にしておく。
2. 本品がまつげと人工毛に直接接着されるように乾いた不織布ガーゼ等で接合部の余分な水分を拭き取る。※1
3. 容器を専用包装アルミパックから取り出す。
4. 60回程度容器を振り、内容成分の正常な混合状態を促す。
5. 角度を45度に保持し、キャップをねじり開封する。
6. キャップが不衛生な床等に落ちないよう、衛生的な台の上に置く。
7. 容器の先端を下に向け、指で容器の腹を軽く押し、専用トレー又はシート上に本品を2～3滴、静かに押し出す。※2
8. 皮脂や汚れ等が付着しないように十分に消毒・洗浄したツィーザーで人工毛を把持し、人工毛の根元から毛先方向（全長）約3分の1に容器から軽く押出した本品を適量塗布する。
9. 本品を適量塗布した人工毛を、まつげの生え際から約2mm程度離した部分を基点とし、まつげの先端に向けて沿わすように接合する。※3 ※4
10. 各接合の間隔を約3秒以上おき、必要な本数を最後まで接合する。
11. 最後の人工毛をまつげに接合してから約5分で表面部分は乾燥するが、深層部には粘着性が残る。接合後約2時間が経過したら、重合が完了したと考えてよい。※5